

令和4年度第1回岸和田市介護保険事業運営等協議会会議録  
第1回岸和田市地域包括支援センター運営協議会会議録  
第1回岸和田市地域密着型サービス等運営委員会会議録

<p><b>【案件】</b></p> <p>(1) 令和3年度介護保険事業状況について</p> <p>(2) ①令和3年度地域包括支援センター運営状況について</p> <p>②令和4年度地域包括支援センター事業計画について</p> <p>③地域包括支援センター事業評価</p> <p>(3) 地域密着型サービス事業所の指定・更新状況について</p> <p>(4) その他</p>	<p><b>【日時・場所】</b></p> <p>令和4年7月22日(金)14:00～15:50  岸和田市役所 新館4階 第2委員会室</p> <p><b>【出席委員】</b> 15名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大谷委員・岩井委員・浦田委員・泉本委員</li> <li>・炭谷委員・江阪委員・山中委員・藤澤委員</li> <li>・山本一委員・野本委員・岡本委員</li> <li>・山本博委員・太下委員・野内委員</li> <li>・徳久委員</li> </ul> <p><b>【事務局】</b> 16名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山本保健部長・西川介護保険課長</li> <li>・前田調整参事・船津保険料担当主幹</li> <li>・蓮井認定担当主幹・川田給付担当長</li> <li>・太田地域包括ケア推進担当長</li> <li>・小野福祉政策課担当長</li> <li>・野竹広域事業者指導課担当長</li> <li>・吉田（地域包括支援センター社協）</li> <li>・沖藤（地域包括支援センター社協）</li> <li>・三林（地域包括支援センター社協久米田）</li> <li>・休場（地域包括支援センター萬寿園葛城の谷）</li> <li>・西村（地域包括支援センター萬寿園中部）</li> <li>・丸山（地域包括支援センターいなば荘北部）</li> <li>・細見（地域包括支援センターいなば荘牛滝の谷）</li> </ul>
---	---

事務局	<p>ただ今から、令和4年度第1回岸和田市介護保険事業運営等協議会・地域包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス等運営委員会を開催致します。</p> <p>委員の皆様には、公私ともご多用の中、ご出席賜り厚くお礼申し上げます。</p> <p>それでは、まず初めに、町会連合会代表について委員の交代がありますので、委嘱状の交付をさせていただきます。</p> <p><b>【山本保健部長より、委嘱状を交付】</b></p> <p>ありがとうございました。</p> <p>会議に先立ち、山本保健部長よりご挨拶申し上げます。</p> <p><b>【山本保健部長の挨拶】</b></p> <p>それではこれより会議に入らせていただきますが、本日の協議会の会議録は、岸和田市審議会等の会議及び会議録の公開に関する条例に基づき、ホームページにて公開することとなっています。念のため、録音させていただきますことをご了承ください。</p> <p>本日の協議会の傍聴についてですが、傍聴の方の人数は2名でございます。</p> <p>傍聴の方には、条例施行規則の第4条に基づきまして、遵守していただく事項がございます。「拍手その他の方法により公然と賛否を表明しないこと」、「発言しないこと」、「他の傍聴人の迷惑となるような行為をしないこと」、「会場において写真撮影、録画、録音等を行わないこと」の以上4点でございますので、よろしくお願い致します。</p> <p>続きまして、本日の会議成立の報告でございます。本日の協議会は、全委員16名中現在14名のご出席となっております。よって、過半数の委員のご出席でございますので、岸和田市介護保険事業運営等協議会規則第6条の規定により、本協議会が成立していることをご報告致します。</p> <p><b>【配布資料確認】</b></p> <p>それでは、これより大谷会長に議事の進行をお願い致します。</p>
会長	<p>それでは、改めましてみなさんこんにちは。暑い最中コロナもなかなかおさまらず、爆発的な増加をしている最中ご参集を賜りありがたく思っております。どうぞよろしくご審議の方お願いしたと思います。審議に先立ち、○委員の方が途中退席させ</p>

	<p>ていただきますことをご了承いただきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。それではさっそく審議に入りたいと思います。</p> <p>案件（１）令和３年度介護保険事業状況について、事務局より報告をお願いします。</p>
事務局	<p><b>【令和３年度介護保険事業の運営状況について事務局より説明】</b></p>
会長	<p>ありがとうございました。令和３年度の事業報告をしていただいたところです。これについて、何かご質問があればお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>資料の20頁、地域包括ケアシステムの推進というところで、無資格者への認知症介護基礎研修受講義務づけ、この受講というのはオレンジリング運動のサポーター養成講座とは違う内容の受講でしょうか。</p>
事務局	<p>違う内容で無資格者に対して、示されているのは自宅３時間程度で受講できるもので、サポーター養成講座を受講しているから受講が免除されるということではないです。</p>
会長	<p>他の委員の方がいかがでしょうか。ないようでしたら、案件を進めさせていただいてよろしいですか。ご質問あれば、最後にお受けさせていただきたいと思います。それでは、次に案件の２、令和３年度地域包括支援センター運営状況について事務局の方から報告を受けたいと思います。よろしくお願い致します。</p>
事務局	<p><b>【令和３年度地域包括支援センター運営状況について事務局より説明】</b></p>
会長	<p>ありがとうございました。令和３年度地域包括支援センター運営状況のご報告をいただきました。今のご報告について、ご質問ご意見等があればお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>すばらしい活動内容を聞かせていただいて、本当に大切な地域の問題点を取り組む大事な集いをさせていただいたと思うのですが、最後のところで地域ケア会議出席ゼロとなっています。自立支援地域ケア会議という形のものを、ご報告の中でお聞きしたのですが、そこから問題点を抽出して地域ケア会議にどうして出来なかったのかが気になりました。</p>
事務局	<p>地域ケア会議は年１～２回しているのですが、上半期でしているので下半期の報告には出て来ていないことになると思います。</p>

<p>委員</p>	<p>2点あります。夜間訪問介護の利用がかなり減っているのですが、看取りケアで非常に必要なサービスと思います。訪問看護は増えて医療の方では看取りケアの環境が整いつつあるのに、ニーズがなく減っているのか、訪問介護員が全国的に高齢化で不足していると言われていて、人材不足もあって受入が困難なのか、若しくはケアマネによりサービス利用につながっていないのか、現場で起こっていることを教えていただきたいのが1つと、いきいき百歳体操とリビングの話ですが、軽度者の認定が今回増えています。高齢化率が最高になっていて、出現率も21.4%と最高値になっています。出現率20%台が理想と思っているのですが、コロナでいき百が止まり、参加者の顔ぶれを見たときに全く違う参加者が来ていて、今まで参加していた人はもう介護サービスを使っている状況なのかと想像するのですが、いき百とかリビングとかに携わっている方に現場の状況・感覚をお聞きしたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>1点目の、夜間訪問の件ですが、現場の感じをお話しさせていただきます。最近有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅が岸和田ですごく増えてきています。夜間訪問が必要な方は夜も介護をしないといけない重度の方に訪問に入るケースがあったのですが、ここ1、2年本当に状況が悪化したらすぐ入居される方が増えてきたと思います。定期的におむつ交換に訪問するケースが減っている実感があり、夜間訪問が減っているものと思われまます。</p>
<p>事務局</p>	<p>いきいき百歳体操、リビングの参加者の質問の件ですが、コロナ禍で活動が一旦中止、再開して、おっしゃられていた新しい人が来て、過去の参加者がデイサービスを利用しているのかどうかという点ですが、数値としてそれをきっちりとしてなく、特にリビングとかは出席を確認するものではないので、感覚的ではありますが、過去来ていた人は多くの方が戻って来られているのですが、中には総合相談で自宅に伺うと、過去にいき百に行っていたけれども、この1年休止していることで体が動きづらくなって、そこから行けていないという相談を聞くことが増えている感覚はあります。それと再開したことによって、新しい人が大幅に増えているかというところ、そういった感覚もそんなにないです。コロナ化でフレイルをすごく感じて介護予防を積極的にと、地域の活動に新しい層が来ているという感じでもないです。地域の主催者側の方は、いきいき百歳体操が閉じてしまったことで閉じこもりになってしまったという声を耳にされることが多いみたいで、いつ再開されるのですか、とかリビングでよく会えていた人に会えなくなったのでさびしいとか聞かれるみたいで、地域の活動者は再開に向けていろいろ工夫して頑張ろうとしているところでもあります。包括支援センターとしてもその辺運営していきたいですし、総合相談で訪問した際にフレイル状態の方であつたら地域のつながりも含めて、いき百、リビングを紹介していきたいと思っています。</p>

<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。おっしゃりたいポイントは、いきいき百歳体操を各地区で行っていますが、それがうまく届いていれば、認定率も下がるのではないかということです。体操を勧めているけれども認定率が上がっているというのは、体操の効果、あるいはそういったところがどうなのかということのお問い合わせとご理解いただいたらありがたいと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>時間の関係で前に進めさせていただいてもよろしいでしょうか。  それでは、次に案件の2の②令和4年度地域包括支援センター事業計画について事務局の方から報告を受けたいと思います。よろしく願い致します。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>【令和4年度地域包括支援センター事業計画について事務局より説明】</b></p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。地域包括支援センターの事業計画というところでございます。この辺のところは、昨今言われているように重層的支援に対して地域の中で相談を受ける体制をどういう風にするのかというところが一つのポイントになるかと思えます。こういったところで地域福祉計画という所もリンクしてくると思っております。このところで何かご意見要望等あれば伺いたいと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>すばらしい事業計画を伺いました。地域包括ケアシステムの構築ということで、住み慣れたところで安心して生活していく上ではすばらしいことですが、これを構築していく為にどのような形で頑張ってもらえるのかと思っております。地域ケア会議が一番大事でないかと思うのですが、それをする為には支援の体制を大切にできないといけないと思うのですが、地域包括ケアシステムというのは、社協の包括支援、地域包括支援センターの場所だけでは大変な問題だと思うのですが、岸和田市が第5次岸和田市地域福祉計画を立てているのですけれども、ここでも地域包括ケアシステムの必要性のようなことが書かれています。そして岸和田市の第8期介護保険事業計画でもその問題をすごく取り上げていると思えます。これを解決していく為には、包括だけではこの問題に取り組んでいくことは難しいと思うのですが、それを堺市では条例を作って担当職員を置いて包括ケアシステムを構築するための活動をしているのですが、岸和田市では、社協が出された事業計画で構築していけるとお考えなのか、これから先どのような形でこれを構築していく為にどんな活動をされて、地域ケア会議をどれくらいされて、どのようにされていくのかももう少し詳しく聞きたいと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。地域包括ケアシステムというシステムを作り上げていく際に、いま現行の地域ケア会議のありようでいいのかどうか、開催も含めてですが、</p>

<p>事務局</p>	<p>上位計画の地域福祉計画や堺市のように条例というところまで考えていけるのか いけないのか、その辺のところの皆さんのご意見をお伺いしたいということでござ います。</p> <p>地域ケア会議については個別事例のケースの検討であったり、地域の課題がたくさ ん発生しているところ、先程地域包括のいなば荘北部から報告もあったような地域 の困りごとを拾ってきた中で地域の住民の皆さんと一緒に解決方法を考えるところ から始まっていくと思っています。地域ケア会議につきましては、包括の計画書 の(3)のところにありますように、色々な関係機関であったり地域住民などが協働 しながら、地域が住み慣れた街にしていくということが包括的・継続的ケアマネ ジメント業務であると思いますが、それを達成するための1つの手段という形であ ると思っています。ただ、会議の回数を何回しないといけないとかではなく、地域 の市民の声を拾っていく中で、必要に応じて柔軟に会議の開催を地域包括と計画し て実行している段階であると考えています。条例の制定等までは考えていないところ はありますが、現状拾ってきた声を地域ケア会議でなくても、例えば事例検討で あったり、様々な方法で包括が対応して下さっていると考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>先程包括の地区の報告があったように、色々な現場で色々情報を聞いて、それをサ ポートしていくということで、大宮地区とか常盤地区とか部分的にされていると思 うのですが、地域包括ケアシステムを構築していく為には、全市の地区でそれだけ のことをやっていただける環境にさせていただかないと地域差が出てくるのが気にな るのですが、地域の問題を抽出して地域ケア会議をしてそこで政策にもっていく ことが、地域包括ケアシステムの構築になるのかと思うので、そういう形を少しず つでも推進していただける方法をどのように考えておられるのかということをお 伺いしたかったです。</p>
<p>会長</p>	<p>地域課題があがってきたときに、実践報告では限られるのですが、上がってきたこ とをどのように具体的に困りごとなどを政策としてあげて解決する仕組みをつく るかということでお尋ねされている訳です。実践報告だけで終わるのでなく、そこ から何を拾い上げて施策として取り組んでいけるかを考えていける場が地域ケア 会議であるということのお問い合わせであると理解していますが、一朝一夕には 出来ないので、これはご指摘があったということをご理解いただいて、進めていっ ていただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>そこまで説明するには至っていませんが、大阪府から色々な提案も受けながら優先 的に支援を受けながら、ここに書かれているような介護予防マネジメントである自 立支援型地域ケア会議、これは一人一人が目標を決めて色々な専門職でそれを支援</p>

	<p>する手立てを考えますが、その中には地域の状況が出てきます。こういった会議を積み重ねることによって、地域の専門機関が集まって、課題ということには至りませんが、部分的には色々な課題は出ていると思います。ただ、地域ケア会議の回数を目的ではなく、個別の支援をいくつも重ねていくうちに、具体的な課題とかが見えてくるかと思っています。まだそこまでの回数、開催回数にこなすまでには至っておりませんが、こういった個別の会議を重ねることによって色々な課題が見えてくるかと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>課題を吸い上げる、いわゆる集積する場がどこなのか、最初冒頭に回数の報告がありました。その記録がどこにあってどういう内容であったのか収集と分析にご留意していただければと思います。地域でお分かりだと思いますが高齢だけの問題でなく、例えば息子さんが精神障害とか、あるいは引きこもりとか、個人だけの問題だけでなく家族の問題としてあがってきたときに地域包括はどこまで対応するのか連携先はどこなのか、あるいは他の施策として連携はどう取っていないといけないのか、この辺のところまで含めて考えて、地域ケアシステムが成り立つ話だと思うのです。制度的に地域包括のセンター業務は国の制度で、高齢者に特化していますから、家族までやろうとするとその本来業務であるかということではなかなか前に進めない、制度的な問題があることは了解していますが、集積していただく可視化するその仕組みがあればいいと思いますし、またそれを開示していただいて岸和田市のこういったところが課題であることを共有化できれば、さらに前に進めやすくなるのではないかと改めて思っているところであります。</p>
<p>会長</p>	<p>時間の関係で前に進めさせていただきます。 地域包括支援センター事業評価について事務局の方から報告を受けたいと思います。よろしくお願ひ致します。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>【地域包括支援センター事業評価について事務局より説明】</b></p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。毎年評価をしているところでございます。改善しているところと継続しているところと混在していると思いますけど、ただ今の報告について何かご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。○委員はそろそろお時間ですが一言よろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>お話を聞かせていただいて思ったのは、先程先生もおっしゃっていたのですが、色々な事業とかされていますけれども、その問題点を出してこのように評価されているのは当然のことだと思うのですが、その前にたとえばいきいき百歳体操とかでその評価をどうやって出していくかというようなところが見えてこない、いわ</p>

	<p>ゆるアウトカムといわれる結果ですが、例えば先程みたいにそこから要介護の人たちが要支援の方に移行してきたとかであれば説得力がありますけど、それもわかりませんよね。そのあたりがあればより結果をすぐにだしていただけるのではないかと思います。それとコロナの影響がそこはかに出ているのではなかろうかと思えます。勤め先が〇町のほうにありまして、同じような体操を行っているのですが、コロナでかなりシャットアウトされてしまって、せっかく今まで進んできた事業が後退してしまって非常に残念であると思っています。先程の〇委員が聞いておられたみたいに、前に推し進めていくには、どうしたらいいのかというところを私も考えていきたいと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。先生の提言を受けてできる範囲内で、評価がいきいき百歳体操を含めてですが、効果が確認できれば、より住民からの同意も得やすいのではと改めて思っているところであります。</p> <p>それではよろしいでしょうか。最後のところの報告を受けたいと思います。地域密着型サービス事業所の指定・更新状況について事務局の方から報告を受けたいと思います。よろしくお願い致します。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>【地域密着型サービス事業所の指定・更新状況について事務局より説明】</b></p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。指定状況のご報告でありました。今のご報告について何かご質問等あればお伺いしたいと思っていますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>事業所の数、指定の状況をお伺いしたところですが、それに連動するところになると思いますが、実地指導の状況、この4月から厚生労働省からは運営指導という名前に変わっていると思いますが、計画書の64頁のところにサービス事業者への指導・助言ということで、実地指導をしていくことが記載されていますが、65頁に平成29年度から令和元年度に行った実地指導の件数が書かれていると思いますが、これを何故聞くのかといいますと、高齢化率がどんどん高くなっていった第9期の計画を立てようとする時に、当然介護保険料の決定もあろうかと思えますけれども、おそらく上がるのではないかというようなイメージを持っている中で、上がるのは仕方がない部分であるけれども、指導によって出ていくお金を縮めていく部分、報酬算定について誤りがあると、皆さんからいただいた介護保険料が無駄に使われてしまうということになりますので、どういう風にされているかとお伺いしたいです。厚生労働省から3月に出ました実地指導マニュアルに書いてあるのが6年に一度、指定期間中に一度実地指導することが書いてあるのですが、実地指導率としては16.6%になるのですが、8期の計画の中では全然足りない実地指導率になって</p>



	<p>いると思うのです。2.5%ぐらいの数字だと思います。その辺、今後どうされていくのかということと、16.6%をクリアすれば国から国庫補助金がインセンティブとして挙がってくると思うのです。入ってくる部分も増やすということも考える必要があるのではないかと思います、今後の実地指導の方針とか、今日の資料の中に実地指導の状況が計画以降どうなっているのか全然わからないので、今後改善していただいたらと思ひまして質問させていただきました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ただ今のご質問について、お答えできますでしょうか。</p>
事務局	<p>私の方は広域事業者の指定の方の担当でして、もう一人指導の担当長がいるのですが、その者が出席していません、具体的なことをこの場で申し上げるのは難しいのですが、今年度、6月から週に一度は指導に行っている状況ですので、うろ覚えでありますけれども、今年度5.7%、5%台を目標に実施して行っているところであります。</p>
会長	<p>なかなか16.6%には人力的な問題もあってなかなか難しいと思われませんが、ご指摘いただいたように、インセンティブが入る、認定率が下がったらインセンティブで入ってくるお金が増えますので、運営について頑張っていただきたいというご指摘であったと思っています。広域事業者指導課に戻られましたら、そういったご意見があったことをお伝えいただければと思っています。</p> <p>まだ発言されていない方、これは言い残しがあるところがあれば、少し時間を取らせていただければと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>特にないようでしたら、その他事務局の方から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>その他の案件として2点介護保険課から報告させていただきます。</p> <p>まず1点目ですけれども、8期計画での施設整備についてです。8期計画で、広域型特別養護老人ホーム50床整備する予定に致していましたが、3月に書面で選考結果について報告させていただいたとおり、36床で整備する選考内容となりました。計画から14床不足する内容になっているのですが、今後施設整備をどう進めていくかにつきましては、仕切り直しを致しまして、来年度9期計画を策定する中で、特養の待機状況なども見極めて改めて検討してまいりたいと考えております。</p> <p>2点目です。9期計画策定に向けた「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び「在宅介護実態アンケート」になります。介護保険計画策定に1年半かかっておりますので逆算致しますと、今年秋からは、次期計画の事務をスタートさせていくことになります。第9期計画作成に向けた調査について、厚生労働省から昨年通知が来ていまして、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び「在宅介護実態アンケート」の調査項目・調査方法は、第8期から大きく変更する予定はないと示されています。</p>

	<p>前回の計画と同様に、次回の第2回運営協議会において、アンケート調査の内容に関しまして、諮問させていただく予定に致しています。そして、それに先立ちまして、第2回運営協議会までに委託業者の選定を行ってまいりますので、ご了承いただけますようお願い致します。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。以上で用意した議題はすべて終了となりますので、先程の2点は了承いただきたいと思います。</p> <p>あとは、事務局からお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>長時間にわたりお疲れ様でした。</p> <p>次回の協議会は11月下旬を予定していきまして、日程が決まりましたら、改めてご通知させていただきますので、ご出席賜りますようよろしくお願い致します。</p> <p>お車の方は、駐車券を配付させていただきます。ありがとうございました。</p> <p>特にコロナ禍の中、ご参集いただきましてありがとうございました。</p>